

みなさんこんにちは(^^) /
11月8日に立山連峰初冠雪となり、平年の10/12より27日遅く史上2番目の遅さでした。9、10月は気温が高く、雪が降りにくくて雨が多かったことが原因と考えられるそうです。ちなみに最も遅いのは1977年11月9日。



【お知らせ】 立山黒部ジオパーク交流施設「うなジオ」は、
2025年4月13日(日)までは、
土日祝日と年末年始(12/29~1/3)は休館日となります。
※休館日に団体でご利用希望の場合は、大高建設㈱まで、お問い合わせください。

今年も多方面から視察に来られています

8月3日(土)墨田区都市計画課 様、9月26日(木)富山市商工会商業工業部会 様、10月10日(木)JTB協定旅館ホテル連盟中部支部連合会 様、11月20日(水)永平寺町議会 総務産業建設常任委員会 様など、あらゆる分野の団体が、当法人の視察に来られています。



黒部市電動ミニバス(グリーンスローモビリティ)実証運行事業(三日市地区) 出発式10月21日(月)の様様



裏面もあります、見てくださいね♥

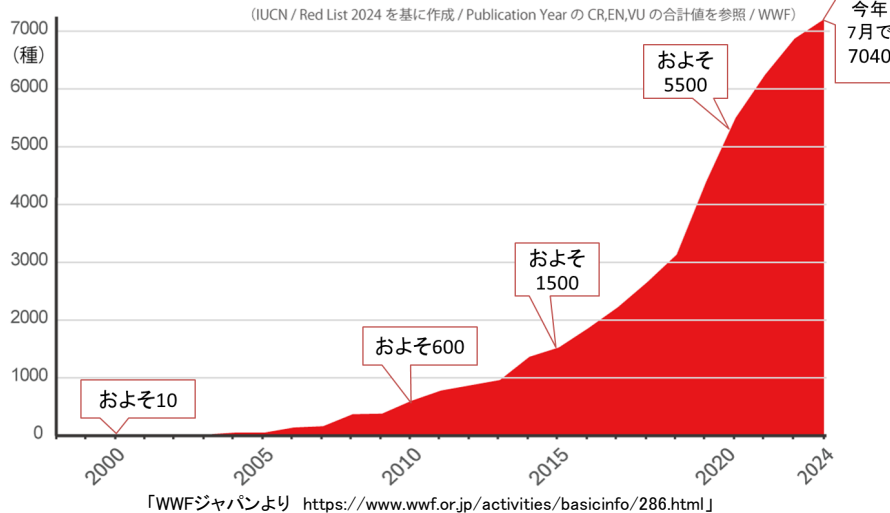
わたしたちの暮らしと地球温暖化 その86



IUCN(国際自然保護連合)が発表している、世界の絶滅の恐れのある野生生物のリスト「レッドリスト」には、4万6,300種以上の野生生物が「絶滅の危機の高い種(絶滅危機種)」として掲載されています。(2024年11月時点)

そしてレッドリストでは、野生生物を追いつめる大きな11の要因の一つに、「気候変動」つまり地球温暖化を挙げています。この気候変動による影響を受けていると考えられている絶滅危機種は、西暦2000年以降、急激に増加してきました。

地球温暖化が、絶滅危機の要因の一つとなっている絶滅危機種の種数



2000年時点で10種あまりだったその数字は、2010年で600種近くに増加。2015年で約1,500種に、2020年には4,000種、2024年11月の時点では7,412種にのぼっています。この数字は今後も、気候変動の深刻化に伴い、さらに増えるものと考えられています。

もちろん、この気候変動で脅かされている野生生物の中には、密猟や生息環境の破壊といった、他の危機にさらされているものが少なくありません。むしろ、温暖化のみによって絶滅しかけているものは、数少ないといってもよいでしょう。



しかし問題なのは、これまで野生生物を脅かしてきた大きな要因、「乱獲」「生息環境の破壊」「外来種」といった

脅威に、この「気候変動」がさらに重なることは、野生生物の絶滅の危険性を、さらに増大させてしまうおそれがある、ということです。

出展) WWFジャパン <https://www.wwf.or.jp/activities/basicinfo/286.html>

(富山県デコ活推進員[地球温暖化防止活動推進員]:美香)



発行／一般社団法人でんき宇奈月
編集／一般社団法人でんき宇奈月 町野、水野
〒938-0282 黒部市宇奈月温泉633-1 大高建設(株)内 TEL 0765-62-1106
<https://www.denki-unazuki.net/>

ご意見ご感想お待ちしております!